

(3)「三里の今・昔・そして ～千本松原を追う～」(小学4年生+地域)

1. 本時の展開

(1) 学習にあたって

三里は海の里。緑の山を背に、内に浦戸湾、外は太平洋。ここから土佐の「園芸」が始まり、「造船」が興っている。しかし時代とともに開発の波が襲い三里は変貌した。地域の人々はより豊かな暮らしを求めて、その時、その時代の中でいろいろなことを考え、物事を選択し生きてきた。今（現在）、また三里には何度目かの開発の波が押し寄せてきている。新港ができるとともにトンネルが掘られ新しい道路ができた。それに伴い、浦戸大橋は無料化されることとなった。そのため県営渡船への車輛の乗り込みは廃止になり、便数も減らす傾向にある。まさに道路の開通によって、生活が変わろうとしている。また、遥か江戸時代より防潮林として植えられた松は松枯れが見られるようになっている。「千本松原を守り育てる会」という地域住民の立ち上げた保護団体ができているが、あまり知られていない。自分たちの暮らしを守る保安林としての意識は、今や薄らいでいるのである。

このように三里には、ずいぶんと変化をもたらす出来事が起こっているのだが、子どもたちにとっては、身近な自分たちの問題としてはとらえられていない。時代の変化がもたらした結果については何かぼんやりとした感情は持っているだろうが明確ではない。豊かにはなったけれども振り返るべきものはないかということを考えるきっかけになればと思い、この学習に取り組むことにした。

この学習を通して直接、自然体験やインタビュー等の調べ活動を行うことによって、古くからあるもの・新しいものに対する自分なりの考えを持たせたい。また、地域の人（特に古老）の思いに触れることによって、自分の郷土への認識を新たに持ち、自然環境や文化に対する愛着を持つことができたらと考える。さらには、自然を保っていくためにはどうすればよいのかということに目を向けさせ、郷土への愛着をもつことができるようにしたい。そうすることにより、環境問題についての基本的認識を育てていきたいと考える。

ここでは、単元の一部である松林に関心を向け、追究した子どもの姿を報告する。

(2) 学習のねらい

- ・「千松公園」で遊んだり、自分の木を決めたりする活動を通して、松林に親しむ。
- ・三里の変化（特に松林）と地域の人々の生活との関わりを見つめる学習を通して、自分は周囲の環境（自然、文化等）に深く関わって生きているということに気づく。開発によって地域が変わっていることに気づき、そのことに対して自分の生活や将来を見すえて自分なりの

思いを持つことができる。

- ・学習を通して地域（松林）に目を向け、大切にしようとする心情を養い、自分たちでできることはないかを考えて取り組むことができる。

| | 活動計画 | 活動内容 | 教師の支援 |
|------|-----------------------|---|--|
| 感じる | 1.千松公園を含めた松林について興味をもつ | ○昔の写真で場所あてクイズをし、松林探検の計画を立てる ●松林を探検し自分の木を決める ○「自分の木」を発表しあい、松林に対する思いを持つ | ・松林の中で思い切り遊ぶことのできるような計画にする。 ・自分の木を決め、デジカメで撮影することによって松の木への思いを持つことができるようにする。 |
| 考える | 2.課題を持ち、自己課題の解決に取り組む | ○昔の写真（大正時代）を見て今との違いを知り、疑問に思ったことや感じたことを話し合う ○追究してみたい課題を持ち、追究内容の学習計画を立てる ・インタビューの内容を考え、家の人の意見を聞く。 ・地域の人にもインタビューをするよう計画を立てる。 ○松の木を守るための努力や苦勞について「千本松原を守り育てる会」の方の話聞く ●松の木の樹木検査をする ○どんな考えを持ったか、これからどうしていきたいかについて話し合う | ・学校の民具室に残っている写真を提示する。 ・児童とともにインタビューの内容項目等について考える。 *昔の松の様子 *松林がどのようなことに役立っているか *三里の人々とのかわり ・「森は生きている」(富山和子著)の本も活用できる。 ・さまざまな立場で活躍している人がいることを知らせる。 ・樹木医さんとともに調べる。 ・海岸林としての松林のすばらしさを感じることができるようにする。 |
| | (3月) | ●「千本松原を守る会」の方々と松の木の植樹をする | ・苗木の提供がある3月に日を合わせる。 |
| ふり返る | 3.自分自身の生き方について考える | ○自分の考えをまとめる | ・物が豊になり便利なくらしになったけれども、それゆえに、考えなければならぬ問題も出てきていることに気づく。 |

【●】:千松公園での活動 (「総合的な学習の時間」にて実施)

2. 学習風景

■松原で遊び松原に親しむ

子どもたちは千松公園で友だちと鬼ごっこをしたり、木に登ったりと、思い思いの遊びを通して、松原の様子を知り、そして親しんでいます。



■松の木の樹木検査をする

樹木医さんから、木の健康に関することや木の健康診断等についてお話を聞きました。さっそくみんなで、聴診器を使って木の根元や幹の上のほうについても調べます。



■「千本松原を守る会」の方々と松の木の植樹をする

松原を守る活動をしている地域の方々と一緒に、松の苗木を植えました。子どもたちは最初慣れない手つきでしたが、地域の人たちに手伝ってもらい、きちんと植えることができました。また植樹を記念して、自分達の想いを綴った記念の木柱も立てました。木の成長を見に、子どもたちはきっとここにやってくると思います。

